

令和4(2022)年度 第1回 学校評議員会の概要

1 日 時

令和4(2022)年6月23日 9:30～10:30 授業見学 10:30～11:30 評議

2 場 所

県立芦屋国際中等教育学校 応接室

3 出 席 者

別紙参照

4 概 要

次の3点について、それぞれ学校から説明の後、評議していただきました。話題ごとに概要をまとめます。

- (1) 20期生の状況
- (2) 令和4年度の主な取組
- (3) 創立20周年記念事業

○20周年の総括

評議員 本校は時代に先駆けて、20年間、日本語や日本文化の理解が不十分な生徒を受け入れてきたが、現在どのような課題があると認識しているのか。

学 校 まず、学校としては20年間取り組んできた日本語教育の成果等について、研究授業等を通して広く発信したいと考えている。

また、外国につながる生徒の育成には、日本語教育だけでなく、母語、母文化育成も重要であるとの認識が進んだ。ICTの活用等も視野に入れ、新しい取組ができないか模索している。

評議員 日本語教育は1, 2年生しか実施されない教育課程となっているが、後期課程での取組は検討していないのか。

学 校 後期課程では日本語の日常会話に加えて、通常の授業での高度な日本語の運用が求められる。国は高等学校での日本語教育の単位認定を可能にすると報じられているが、まだ制度の全体が明らかにされていない。本校としては、来年度から日本語検定試験の成果を単位認定する等、現在できる範囲での支援策の実施に向けて校内で話し合いを進めている。

○入学者選考

評議員 平成30(2018)年度に入学者選考出願資格の変更があって以降、入学生の状況等に変化はあったか。

学 校 出願資格①が「日本国籍を有しない児童」となったため、日本語教育を必要とする生徒が増加した。日本語を話すことができて、小学校で習う語彙や漢字が未習得の者もあり、生徒一人一人の状況や、資質・能力に応じた丁寧な指導を心がけている。

評議員 入学者選考の変更によって、日本国籍を含む重国籍児童が出願資格①では受験できなくなった件について、再び出願資格①で受験できるように制度を変更する考えはあるのか。再検討が必要な時期ではないか。

学 校 入学者選考の方針は県教育委員会が決定する。出願資格の変更に伴い、確かに重国籍生徒数は減少したが、そのことをどう評価するかは議論があると思われる。学校としては県教育委員会に入学者選考のデータを示すとともに本校教育の現状を詳しく報告している。

○学校行事

評議員 今年の文化祭は久しぶりに保護者に公開されて盛況だった。国際交流というテーマがしっかりあり、各展示や屋台も国際色豊かで本校らしく、とても素晴らしいものばかりだった。どれも生き生きしていたと思う。

中でも1年生が取り組んだAI展示や世界の陶芸に関する発表は素晴らしかった。1年生があればほどよく調べることができたことに驚いた。

学 校 1年生はこれまでは体験活動で作成した陶器の展示を行っていた。今年は活動の実施時期の関係で作品展示ができなかったため、発表を工夫することになった。

評議員 昨年度、修学旅行として沖縄に行かれていた。事前指導はどのように行っているのか。また、どのような学習効果を得られているのか。

学 校 本年度3年生、6年次生について、それぞれ昨年度延期になっていた修学旅行を実施することができた。コロナ禍の中、何よりも実施できたことをまずは喜ぶたい。

沖縄修学旅行の事前学習については、歴史を中心として平和学習を行っている。本年度、引率したが、生徒たちは平和公園資料館の展示やひめゆり隊が治療に当たっていた地下壕等を目の当たりにし、衝撃を受けて涙ぐむ者もいた。平和について深く学習できていると実感している。

また、修学旅行での感想や気づきをまとめる形で事後指導も行っている。

評議員 トライやる・ウィークについて、本年度の進捗状況はどうなっているのか。もう少し詳しく説明してほしい。

学 校 トライやる・ウィークは、昨年度、本校は事業所での体験活動が実施

できなかった。今年度は、5日間の体験活動を予定し、生徒80名に対して市内48事業所が受入を可能にいただき、大変感謝している。

9月に生徒が活動する事業所を決定し、10月に事前学習の後、11月に本番を迎える。事後学習として12月には体験発表会を行い、3月に文集をまとめる計画である。次回の学校評議員会でも報告させていただきたい。

○生活支援

評議員 生徒たちが登下校中に事故やトラブルに巻き込まれないように注意願いたい。電車内も含めて、登下校中のマナーについて心配している。

学 校 年度当初、通学路での登校指導を行う等、1年生を中心に、機会を捉えてマナー指導を行っている。公共交通機関を利用して遠方から通学する生徒も多いので、今後とも丁寧に指導する。

○PTAとの連携

評議員 PTA校内ツアーは新規実施とあるが、2013年度以前から実施してきた。保護者、PTA役員と管理職だけでなく、都合のつく教員にお声かけして校内を見学し、その後懇親会を行っていた。

学 校 コロナのため保護者が学校に来ることが少ないというお話をうかがい、前期課程の保護者を対象として校内ツアーを行うことを学校側から提案した。その際、気軽に来ていただけるよう、20名程度の少人数グループを管理職が案内するというツアーを複数回実施することとした。結果、1学期は3回行った。2学期以降は要望があれば検討したい。

評議員 後期課程の保護者についてもPTA校内ツアーのニーズはあると思われる。今後、日程を調整して実施願いたい。